



富山県SDGs宣言実施状況報告書



令和7年4月1日

企業・団体名 富山交易株式会社

代表者名 代表取締役社長 遠藤忠洋

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和6年4月1日（宣言日又は令和6年4月1日）～令和7年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	【目標】 社会インフラの新設ではなく、補強・補修工事による持続性・経済効率性の向上のため、当社およびコンクリート補修事業の認知度を高めるとともに、小口PFIの円滑な運用等により、機動的かつ資金負担の軽い工事手法の導入・拡大を目指す。 【実施状況】 ①補修事業の売上は令和6年度131百万円で前年度の2.2倍となった。 ②地道な営業活動の積上げ、管理監督者の増強、協力企業の整備などが奏功し始めており、今後も継続していく。
2	【目標】 火力発電所の石炭灰といった、処理の難しい産業廃棄物の再利用促進を継続・発展させる。 【実施状況】 ①七尾灰の取込みは再開・継続中。 ②リサイクル品のうち液体状のK-フローは、新規の他社レポートも多く売上増。一方K-ロックは未だ認知が不十分で利用低迷。 ③電力会社や県立大学と共同で、K-ロックに二酸化炭素や廃棄が必要な太陽光発電機のガラスを埋め込む研究を継続。その他のカーボンニュートラルの観点や付加価値アップの方向性も模索し、企業ニーズの吸収に努めていく。
3	【目標】 社員・その家族にとって「いい会社に勤めて良かった」と感じてもらえるよう、時流や社員の声などを的確に捉え、諸制度の整備・定着を進めていく 【実施状況】 ①年3回の役員による社員面接や直属上司との面談、組合との話し合いなどを通じて、社員の要望などの吸収に努め、それに沿う形での規定などの改訂を実施した。 ②最近の急激な物価高なども踏まえ、3%超の賃上げを実施するとともに、その他手当なども支給した。

※宣言日（ウェブサイト掲載日）から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。

